

# 作業環境に適した着やすいライフジャケットの例

※本資料は水産庁補助事業「安全な漁業労働環境確保事業（平成25～29年度）」の成果にもとづいて（国研）水産研究・教育機構 水産工学研究所が製作しました。資料の製作にあたっては小型船舶関連事業協議会にご協力いただきました。

着用阻害要因	作業の例	阻害要因の改善	推奨するタイプ		
			タイプ	製品の例	特徴
引っかかりやすい	のり養殖：箱船での摘採作業時に網に引っかかる 刺網：投網、揚網作業時に網に引っかかる	引っかかりにくいタイプを選択	固型式 空気密封式		表面がなめらかで突出部が少なく引っかかりにくい。
			首掛け式、腰ベルト式（作動索が突出しないタイプ、突出部の少ないタイプ） カップズボン式		作動索の配置や端部の形状などを工夫している機種もある。 カップズボン式は浮力体をカップの内側に装備している。
かさばって作業しにくい	甲板上での漁獲物選別作業	軽装で作業しやすいタイプを選択	首掛け式 腰ベルト式 ポーチ式		固型式や気体密封式とくらべてコンパクトで作業を妨げにくい。
			固型式（スリットや折れ目のあるタイプ）		スリットや折れ目を設けることで作業性を向上している。
暑い、蒸れる	夏季の作業全般	通気性の良いタイプを選択	首掛け式 腰ベルト式 ポーチ式		固型式や気体密封式と比べてコンパクトで皮膚を覆う面積が少ない。
寒い	冬季の作業全般	保温性の良いタイプを選択	固型式 気体密封式		浮力体（発泡樹脂、気室）が断熱材となるため防寒着代わりになる。
着脱が面倒	休憩時などに頻繁な着脱が必要な場合	着脱が容易なタイプを選択	腰ベルト式 ポーチ式 カップズボン式		腰に巻いてバックルをとめるだけで容易に装着できる。 カップズボン式はカップとライフジャケットを同時に着脱できる。
サイズが合わない	冬季の漁労作業で、厚着した上にライフジャケットを着用すると上半身を動かしにくい	サイズ選びのできるタイプ、調整範囲の広いタイプを選択	固型式、気体密封式（サイズ選びのできるもの、調整範囲の広いもの）		サイズ選びのできる機種もある。
			腰ベルト式 ポーチ式		ベルト長さを調節することである程度のサイズ範囲に対応できる。